

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サポートハウスミライエ		
○保護者評価実施期間	2026年2月1日		2026年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25人	(回答者数) 14人
○従業者評価実施期間	2026年2月17日		2026年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数) 3人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境・安全面への配慮	環境整備をその都度行い、日々の活動後には消毒、整理整頓を行っている。 テーブル、棚の角にはけが防止のスポンジシートを貼っている。支援内容から危険の予測を把握できるよう周知、確認している。	職員の体調管理も個々で行うほかに感染防止のマニュアル作成をして周知していく。 安全の確認等が全体で把握できるよう声掛けや確認する場や時間を設けていく。
2	職員間の連携・チームワーク	朝夕の申し送りで業務、支援内容、保護者からの連絡などを確認し、必要に応じてケース会議等を設けて検討、確認、周知している。	話し合う場を様々な場面で行えるよう職員間の信頼関係を深めていく。具体的な方法や役割なども決めて行えるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者・きょうだい向けの交流・研修機会の制約	保護者のお悩み相談を設けているがより身近に交流できるよう座談会なども考えている。	研修会の内容についての話し合いや開催にあたっての参加しやすさなど、より具体的な方法を考えて開催できるようにしたい。
2	交流・社会参加の機会	昨年は地域防災訓練に参加したが支援の活動内容に地域、社会により触れる機会を作っていく。	まずは事業所の存在を知ってもらえるよう事業所の取り組みを伝えていき、支援の活動にも外出の機会や避難訓練の際は避難場所に行ってみるなど地域の目に触れる機会も作っていききたい。
3	第三者評価の活用不足	地域と関わる機会が少ない。事業所の周知とともに関係性を築けていけるようにしたい。	送迎の際の保育園からの意見や地域と関わる際には事業所の説明とともに地域の意見を受け、事業所に持ち帰って事業所として意見を受け入れ、改善をし事業所が向上していけるよう努力したい。